

新型コロナウイルス感染症がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響 がん登録を基盤とした調査

1.研究の対象

大阪府がん診療連携拠点病院等における院内がん登録を行った患者
(2021年1月1日診断以降)

2.研究目的・方法

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響をがん登録を基盤とした調査により示します。

2020年1月16日、中国湖北省武漢市より帰国した男性に初の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)感染が我が国で確認されました。2020年3月11日には、WHOが世界的大流行(パンデミック)を宣言し、感染者数、死亡者数とも増加、緊急事態宣言の発令など、人々の生活に大きな影響を及ぼしています。がん医療においては、検診やかかりつけ医の受診、専門医療機関への紹介、検査、診断、治療において、遅延、中止、代替が生じたと想定され、医療提供体制の逼迫によるがん医療の製薬も現実となりました。がんの進行、生存期間やQOLの悪化、がん死亡の増加が懸念されています。

今回、大阪府の新規がん患者の大分分をカバーするがん診療連携拠点病院等の院内がん登録に基づく調査を行い、診療情報データ的一种であるDPCの情報を加えることで、COVID-19がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響を示します。COVID-19のみならず、今後発生する新たな感染症に対して、がん医療提供体制のあり方を考えるうえでの科学的根拠になると期待できると考えています。

3.研究に用いる試料・情報の種類

「院内がん登録全国集計」のために国立がん研究センターに提出した院内がん登録データの複製(2021年診断症例)と厚生労働省の実施する「DPC導入の影響評価に係る調査」に定期的に提出しているデータの複製(2020年10月から2022年6月の様式1と入院EF統合ファイル、外来EF統合ファイル)から対象症例の抽出・匿名化・暗号化したもの。

4.外部への資料・情報の提供

資料:専用ソフトウェアを使い、調査対象がん患者のデータを抽出し、匿名化・暗号化して保存した可搬媒体を、追跡可能な配送方法で送付する。

提供先:大阪国際がんセンター がん対策センター 政策情報部

5.研究組織

【研究責任者】

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前 3-1-69

電話: 06-6945-1181

研究責任者・代表者:がん対策センター所長 宮代 勲

(大阪府がん療連携協議会 がん登録・情報提供部会長)

6.問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望が有れば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので、お申し出ください。

【照会先】

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

がん対策センター 精索情報部副部長 森島 敏隆

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前 3-1-69

電話: 06-6945-1181

【研究責任者・研究代表者】

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

がん対策センター所長 宮代 勲

(大阪府がん療連携協議会 がん登録・情報提供部会長)

【研究への利用を拒否する場合の連絡先】

社会福祉法人^{恩賜}大阪府済生会野江病院 医療情報管理室 室長 岡野周一郎

〒536-0001 大阪府大阪市城東区古市 1-3-25 TEL 06-6932-0748